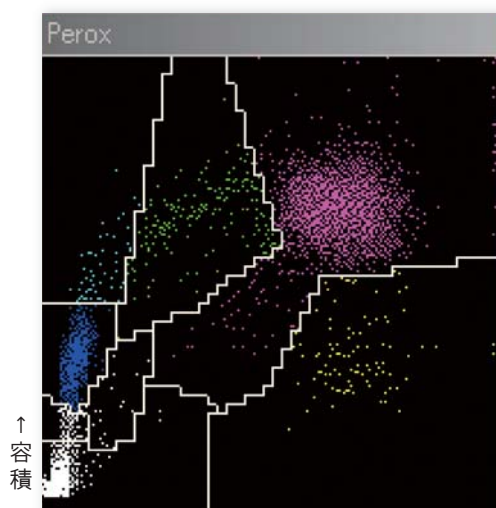


AML-M3(急性前骨髄性白血病)は一目でわかる サイトグラムパターンを呈するといわれています。

- Dekiru - Hematology No. 2 WBC part 2

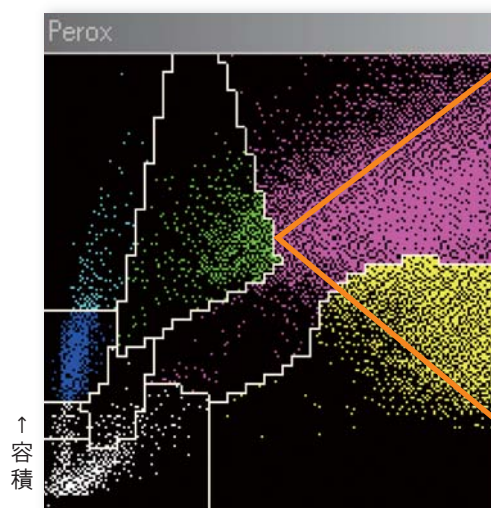
ペルオキシダーゼ活性の強いM3は極めて特徴のあるクラスターを作り(3角形の好中球集団)、どなたでも簡単に判断することができます。

健常者



ペルオキシダーゼ活性→

AML-M3



ペルオキシダーゼ活性→

AMLで特徴的な骨髄芽球のペルオキシダーゼ(PO)染色結果は、陰性から弱陽性、強陽性と幅広く、特にM3で出現する病的骨髄球は細胞質一面にPO陽性像が濃くなるのが特徴です。この過形成を起こした骨髄球は、トロンボプラスチン類似様物質のアズール顆粒を多く含み、この顆粒が集まり融合するとアウエル小体として針状の構造を形成します。特に多量のアウエル小体を骨髄球中に認める場合、ファゴット細胞と呼ばれます。